

マテリアリティ

保険事業を通じた健康寿命の延伸

マテリアリティ：
保険事業を通じた健康寿命の延伸

リスク

- ・長寿化に伴う死亡保障ニーズの減少、入院・手術等の給付金支払額増加の可能性



機会

- ・長寿化や単独世帯の増加等に伴う生存保障ニーズの高まり
- ・健康増進に資する独自商品の開発によるマーケットの拡大

課題認識

日本は世界でも有数の長寿社会ですが、平均寿命と健康寿命（介護等を必要とせず、自立して日常生活を送れる期間）の隔たりは小さくなく、その差を埋めていくことが社会的な課題となっています。

住友生命は、お客さまが継続的に健康増進活動に取り組むことをサポートする健康増進型保険“住友生命「Vitality」”を中心に、本業を通じて、この健康寿命の延伸という社会課題の解決に取り組んでまいります。

目指す姿

いつまでも安心して健康に暮らすことができる社会の実現に向けて、
保険事業を通じて、日本の健康寿命の延伸に貢献する

取組方針・内容

① “住友生命「Vitality」”に関する事業を推進

健康増進型保険“住友生命「Vitality」”を軸に、社会全体への健康増進の働きかけや、健康経営の推進を行うことで、「健康寿命の延伸」という社会課題の解決に取り組んでいます。

この取組みを「CSVプロジェクト」と位置づけ、「お客さま」・「社会」・「会社・職員」とともに、健康増進という新しい共有価値を創造することで、「日本の健康寿命の延伸」を目指しています。

平均寿命と健康寿命の差

日本は平均寿命と健康寿命[※]との隔たりは小さくなく、その差を埋めていくことが社会的課題となっています。

※介護等を必要とせず、自立して日常生活を送れる期間。



（出典）平均寿命：「平成28年度簡易生命表」（厚生労働省）
健康寿命：「平成28年度国民生活基礎調査」（厚生労働省）

“住友生命「Vitality」”とは

「Vitality」は、南アフリカの金融サービス会社Discovery Ltd.（ディスカバリー）が開発し、1997年より20年以上に亘り、南アフリカで販売されています。

現在は、イギリス、アメリカ、中国、シンガポール等、26の国と地域で、約2,170万人（2020年12月末時点）に提供されています。

日本では、住友生命が「独占契約」を結んでいます。



2020年度取組状況（アプローチ）

健康増進を軸としたCSVプロジェクトの推進

“住友生命「Vitality」”の商品特長の認知獲得を目的とした新TVCMを実施すると同時に、SNS・WEB動画等を活用したデジタルプロモーションを重点強化。コロナ禍に合わせた取組みとして、「うち Vitality」と称した屋内での健康増進活動を促すために、浅田姉妹によるフィットネス動画やSNSキャンペーン等を実施しました。

また、社内的には、引き続き健康経営を推進しており、「健康経営優良法人2021（ホワイト500）」の認定を取得しました。



CSVプロジェクト理念

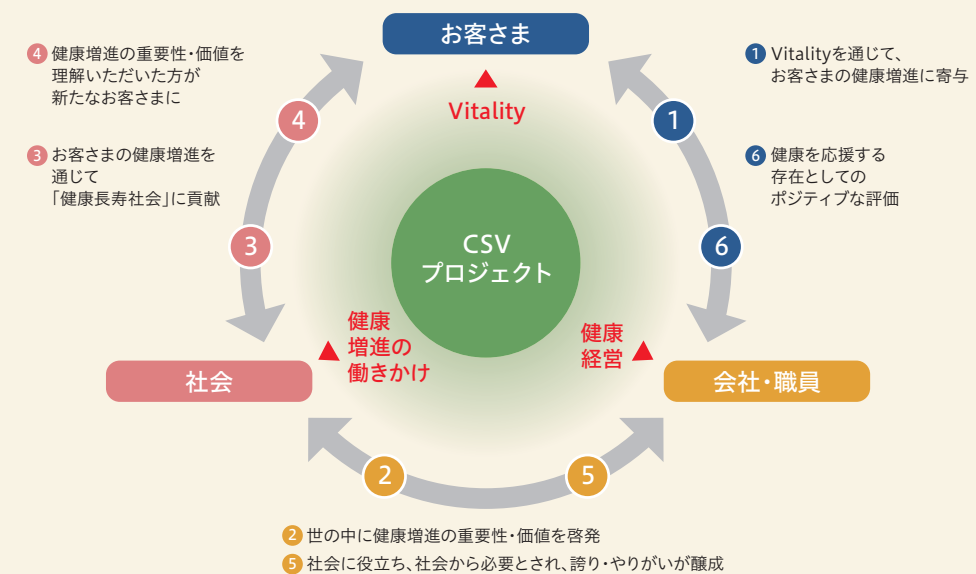
～「健康」を軸とした共有価値の創造～

- ① お客さまへの「Vitality」の提供
- ② 社会全体への健康増進の働きかけ
- ③ 職員とその家族が健康になる「健康経営」の推進

の3つの行動を通じて**日本の健康寿命の延伸**を目指します。

※CSVとは「Creating Shared Value」の略語で、「共有価値の創造」を意味しており、本業で社会的課題に取り組み、「社会問題の解決」と「企業価値の向上」を両立させることを指しております。

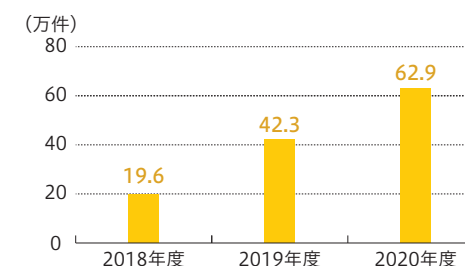
CSVプロジェクトの全体像



2020年度における主な成果

2020年度の“住友生命「Vitality」”の新契約販売件数は20.6万件となり、累計62.9万件と順調に推移しました。

【“住友生命「Vitality」”新契約販売件数の推移（累計）】



「健康長寿社会
の実現」への
貢献

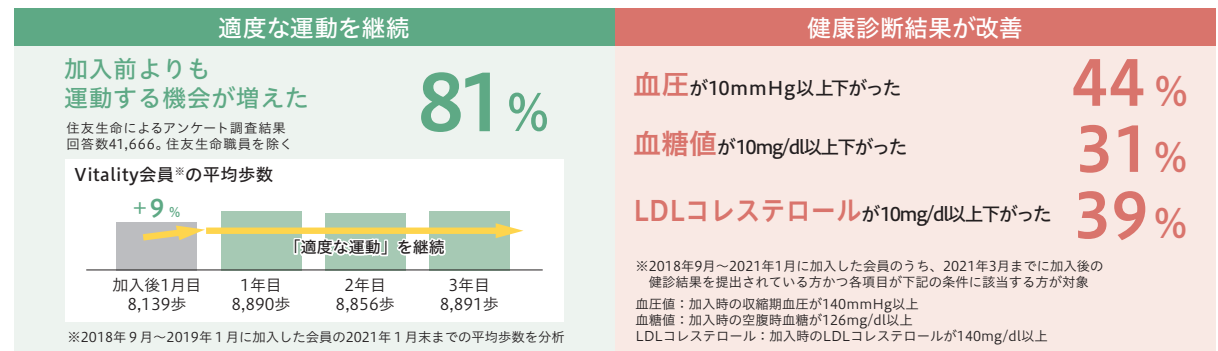
TOPICS »

保険事業を通じた健康寿命の延伸

TOPICS ① “住友生命「Vitality」”加入者の歩数・健康診断結果およびアンケート調査結果

住友生命は、Vitality会員の歩数・健康診断結果に関する調査とアンケート調査を実施しました。その結果、加入前よりも運動する機会や日々の歩数が増加した方が約81%を占め、日々の歩数は加入時から約9%増加し、3年経過した時点でもその水準が維持されています。

また、健康診断結果は、加入時に血圧が高め(収縮期血圧値140mmHg以上)とされていた方の約44%が10mmHg以上低下、血糖値が高め(126mg/dl以上)とされていた方の約31%が10mg/dl以上低下、LDLコレステロールが高め(140mg/dl以上)とされていた方の約39%が10mg/dl以上低下していることが分かりました。



TOPICS ② コロナ禍における運動機会の提供

Vitality Run & Walk Challenge

オンライン上で開催するランニング・ウォーキングイベント「Vitality Run&Walk Challenge」に特別協賛しました。専用サイトから申込みを行うことで、特定の場所に集まらず、誰でも“無料”で“好きな場所”で気軽に参加できます。

なお、Vitality会員は、完走・完歩証の提出でVitality運動ポイントを獲得できます。



おうちVitality応援特典

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外出自粛が呼びかけられる中、Vitality会員の皆さまの自宅(屋内)での健康増進活動を後押しし、楽しく健康的にお過ごしいただけるよう、期間限定の追加特典(リワード)やご自宅でできるオンラインフィットネス等の提供を実施しました。

TOPICS ③ 日本国内でのparkrun(パークラン)を全面的にサポート

CSVプロジェクトの取組み ～parkrun日本初上陸～

① parkrunとは

parkrunは、毎週土曜日朝定時に行われる参加費無料の5kmのウォーキング・ジョギング・ランニングなどを行う運動コミュニティイベントです。現在、parkrunは世界22カ国、毎週2,200か所以上で開催され、参加者、それを支える運営ボランティアとして毎週30万人以上の人々が参加しています。

住友生命は、英国の非営利団体parkrun Global(創始者Paul Sinton-Hewitt CBE)とパートナーシップを結び、日本における唯一のオフィシャルスポンサーとして、日本国内でのparkrun展開を全面的にサポートしています。

② CSVプロジェクトにおいてparkrunに取り組む意義

parkrunは、CSVプロジェクトにおいて「お客さま」「社会」「会社・職員」すべてに働きかけることのできる重要な取組みと捉えています。「お客さま」においては、Vitality会員の方がparkrunへの参加・完走(完歩)すると、Vitalityポイントを獲得でき、Vitalityの役割である健康増進活動をサポートする機会として活用しています。「社会」においては、地域における幅広い方々に向けた運動習慣機会の創出、および地域コミュニティ形成支援となることを目指しています。「会社・職員」においては、職員が会社とともに自らが健康増進に取り組む活動としてランナー・ウォーカー・ボランティアへの参画を推進しています。

parkrunを通じた「お客さま」「社会」「会社・職員」全方位への取組みを推進し、CSVプロジェクトの理念である「日本の健康寿命の延伸」を目指していきます。



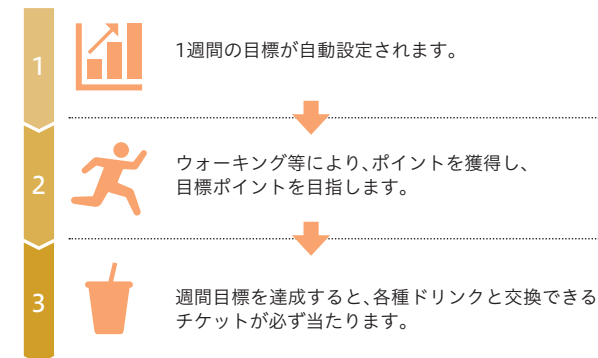
TOPICS ④ Vitality 健康プログラム単独での提供(体験版)

2021年4月から、コロナ禍における運動習慣のきっかけ作りや生命保険にご加入できないお客さまにもVitalityの魅力を実感いただくことを目的に、生命保険に加入することなく、Vitality健康プログラムの一部(アクティブチャレンジ等)を期間限定・無償で体験いただける取組みを試験的にを行っています。

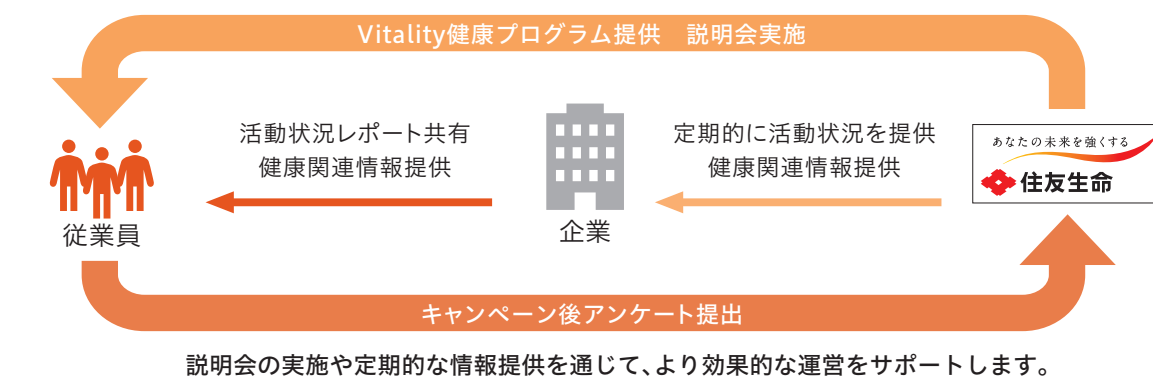
現在は、営業職員経由での個人への提供(個人体験版)と、企業の健康経営推進のサポートの一環としての従業員への提供(企業型)の2つの類型で主に実施しています。

今後、より一層、Vitality健康プログラムをお客さまの健康増進に資する形でご活用いただけるよう、研究・検討を進めていきます。

【「アクティブチャレンジ」の仕組み】



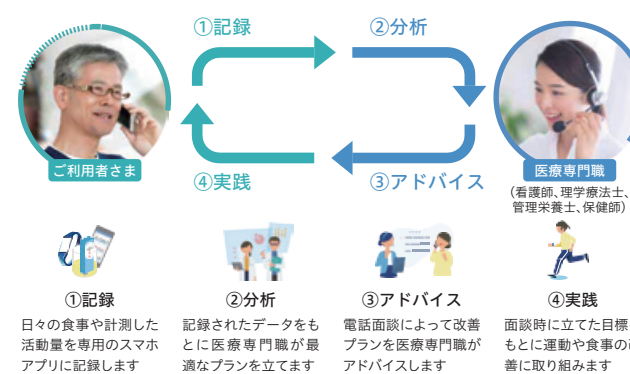
【Vitality企業型の提案を通じた健康経営推進のサポート】



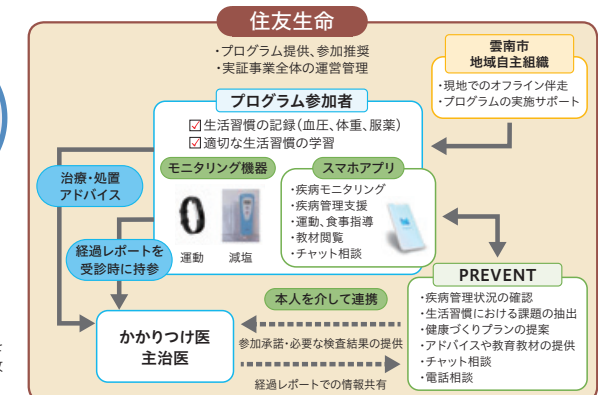
TOPICS ⑤ 重症化予防プログラムの実証実験開始

住友生命はオンライン完結型の生活習慣病の発病・重症化予防プログラム「Mystar(マイスター)」を展開する株式会社PREVENT、島根県雲南市と地域ぐるみの健康づくりに資するための連携協定を締結しました。地域の共助の力を活かし取り組むことで、生活の質(QOL)の向上や市民の健康寿命の延伸を目指す「生活習慣病からあなたを守るプログラム」の実証事業を2021年6月28日から島根県雲南市で開始しました。

【生活習慣病の発病・重症化予防プログラム「Mystar」】



【実証事業の体制図】



実証事業の結果を踏まえて、住友生命とPREVENTは共同で「生活習慣病からあなたを守るプログラム」の進化を図り、これを雲南市の皆さまへ提供するとともに、全国の自治体等へのサービスとして展開していく予定です。